

【地域の概要】

- 管内の農地面積は1,000haとなっており、うち集積面積は473ha（R6.3.31時点）、集積率47.3%と、水田を中心に集積が進んでいる。平野部は水田、山間部は茶畑が多く存在し、集積が進んでいる水田についても担い手の高齢化による受け手の確保、茶畑については離農による遊休化が課題となっている。
- 当地区は池田町北西部に位置しており、耕地面積は約23ha。

①取組開始前の状況や課題

般若畑地区の状況

○担い手の高齢化や獣害などが課題となっており、耕作されていない農地が増加している状況となっている。

遊休農地発生防止の取組

○宮地地域の担い手でもあり、農業委員でもある今西和平さんは令和2年より「ふるさと水と土指導員」として農地の保全活動を行っている。

○農地の保全活動の一環として、般若畑地区の農地でひまわりやコスモス、チューリップなどを植えることで遊休農地の発生を防止している。



ひまわり畑の様子

②取組内容

球根植え作業(令和6年2月)

○今西さんの声かけにより集まった農業委員や推進委員でチューリップの球根を植える作業を近隣住民の方と一緒に行った。

○畑の面積は約1,200㎡で、チューリップの球根を約30,000球植える。今回はそのうちの約300㎡に約3,000球の球根を植えた。



作業の様子

③今後の展開と方向性

継続的な活動の実施

○今後もこの活動を農業委員や推進委員、中学生や地域住民の方と継続することで、遊休農地の発生防止に努める。

地域の活性化

○令和6年4月には、新聞等での紹介もあり、多くの方が訪れるなど賑わいを見せた。

○今後も活動を通して保育園児や小・中学生など、地域住民の交流の場となるよう維持管理を行い、地域の活性化を図る。



チューリップ畑の様子